

2009年 国連大学／ユネスコ国際会議
「アフリカとグローバリゼーション
－過去に学び、より良い未来を実現するために－
2009年9月28～29日、於：東京
暫定プログラム（2009年9月24日付）

両日とも英日仏の同時通訳がつきます

2009年9月28日(月)

1日目：国際会議

於：国連大学本部 ウ・タント国際会議場（東京）

司会者：オビジオフォー・アギナム 国連大学サステイナビリティと平和研究所（UNU-ISP）学術研究官

09:30-09:45 開会式

- 福山哲郎／外務副大臣
- 文部科学省代表
- 松浦 晃一郎 国連教育科学文化機関（ユネスコ）事務局長
- コンラッド・オスターヴァルダー 国連大学学長

09:45-11:00 アフリカの将来像を描く（1）：リーダーシップ・フォーラム

数名の元国家元首参加のもと、本フォーラムでは、過去数十年間に学んだ教訓、開発の経験や成果、また最近の金融危機の影響をもとに、アフリカの将来像を描くことに焦点を当てます。ここでは、アフリカの自主的な開発への取組みを推進し、強化するための方法を中心に発表が行われ、講演者たちは、このような取組みを支える国際社会の役割、特に日本が果たすことのできる、また、果たさなければならない役割について、考えを進めていきます。

共同議長：松浦 晃一郎 ユネスコ事務局長

コンラッド・オスターヴァルダー 国連大学学長

基調講演者：

- オルシェグン・オバサンジョ 前ナイジェリア連邦共和国大統領
- ジョン・コフィ・アジェクム・クフォー 前ガーナ共和国大統領
- アルファ・ウマル・コナレ 前アフリカ連合委員会委員長、元マリ共和国大統領

- サム・ヌヨマ ナミビア共和国初代大統領
- アントニオ・ラマーリョ・エアネス 元ポルトガル共和国大統領
「アフリカ：未来との出会いにおける過去の重みと文化の価値」

11:00-11:30 休憩

11:30-12:30 「リーダーシップ・フォーラム」の続き

12:30-12:35 記念写真撮影

12:35-14:00 昼食

14:00-15:30 アフリカの将来像を描く（2）：ビジョンの実践

講演者たちは自身の経験と知見に基づき、リーダーシップ・フォーラムで共有されたビジョンを実践に移すための方法や問題点について、具体的な提案を行います。アフリカが、ミレニアム開発目標（MDGs）などの国際的に合意された開発目標（IADGs）を達成するための基盤を構築しつつ、グローバルな金融危機を乗り越えるためにどのような対応を取ればよいかを、それぞれ世界レベル、地域レベル、国レベルで評価します。さらにその回復シナリオを策定する場合にあらゆる教育レベルにおける質の高い教育の提供、科学技術やイノベーションの役割、環境、グリーンエコノミーと環境関連の仕事の追求、開発に文化が果たす貢献、人権と男女平等の推進など、様々な地球公共財を保護し、それらへの投資を拡大するアプローチに重点を置かなければならない理由を細かく検討します。討論後は質疑応答を行います。

議長：片岡 貞治 早稲田国際戦略研究所所長、早稲田大学国際教養学部准教授

講演者：

- モンジ・ブスニーナ 元アラブ連盟教育科学文化機関（ALECSO）総裁
- アミナタ・トラオレ 元マリ共和国文化・観光相
- シドリ・T・アシエルムンバ コーネル大学教授、世界芸術科学アカデミー・フェロー、コーネル大学アフリカ研究調査センター教授
「社会的使命を持った高等教育によるアフリカの再生」
- アウグスティン・クワシ・フォス 国連大学世界開発経済研究所（UNU-WIDER）副所長兼担当オフィサー
「アフリカの将来像を描く：政治症候群と統治の重要性」

- ドミニク・マラケ フランス科学技術庁 (CNRS) アフリカ研究センター (CEMAf) 上級研究員
「アフリカにおけるグローバルな取り組み：芸術と文化の展望」
- 松本仁一 ジャーナリスト、元朝日新聞コラムニスト、同中東アフリカ総局長
「グローバル化に食われるアフリカ」

15:30-16:00 休憩

16:00-17:30 アフリカの将来像を描く(3)：リーダーとの対話

先の2つのセッションの講演者たちが、発表されたテーマに言及しながら、アフリカの将来についての公開討論を行います。このセッションでは、様々な考えや視点を活発に交換するダイナミックな討議の場をめざし、また討論後は質疑応答を行います。

議長：コンラッド・オスターヴァルダー 国連大学学長

18:00-20:00 レセプション

2009年9月29日 (火)

2日目：フォーカスセッション「アフリカとガバナンス、アフリカと持続可能な開発」

於：国連大学本部 ウ・タント国際会議場 (東京)

司会者：オビジオフォー・アギナム 国連大学サステイナビリティと平和研究所 (UNU-ISP) 学術研究官

10:00-11:15 アフリカとガバナンス：社会政治的な結束の向上

アフリカのガバナンスを強化するための新たな方法を模索する本フォーカスセッションでは、社会政治的な闘争や内乱の根源に焦点を絞り、不平等がいかに社会的結束を破壊し、ガバナンスを難しくするかを検討します。また、グローバル化の現代的特徴が、開発への取り組みや紛争後の再建と和解の効果などの社会政治的な結束にどのような影響を与えるかを検証します。最後に、講演者たちの発表に対し、出席している世界のリーダー達や専門家からのコメントを求め、その後、質疑応答を行います。

議長：ゴラム・モハメドバイ アフリカ大学協会事務局長、元国際大学協会会長

講演者：

- クレメント・エメ・アディーベ ドゥポール大学政治学部准教授

「政治的停滞時に見られる問題点の効果的な管理によって、アフリカの民主主義を持続させるうえでの国際社会の役割」

- アーネスト・アリーティエー ガーナ大学統計社会経済研究所 (ISSER) 所長
「グローバル化するアフリカにおける社会的結束と経済的發展」
- 勝間 靖 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 国際関係学専攻 主任・教授
「国際保健のガバナンス：アフリカにおける人間の安全保障への脅威としての感染症」
- オビジオフォー・アギナム 国連大学サステイナビリティと平和研究所 (UNU-ISP) 学術研究官
「アフリカとグローバリゼーション：統治、公衆衛生外交、資源紛争に関する展望」

コメンテーター：

- ジョン・コフィ・アジェクム・クフォー 前ガーナ共和国大統領
- アルファ・ウマル・コナレ 前アフリカ連合委員会委員長、元マリ共和国大統領
- アキラグパ・ソーヤー 元アフリカ大学協会事務局長、元ガーナ大学副学長、法学部教授

11:15-11:45 休憩

11:45-13:00 「アフリカとガバナンス」セッションの続き

13:00-14:30 昼食

14:30-16:00 アフリカと持続可能な開発

講演者たちは、アフリカの持続可能な開発の根幹となる問題について、それぞれの考えを発表します。発表では、医療や質の高い教育の利用機会の欠如、貧困の削減、気候変動の問題など、コミュニティや社会が国内外の脅威に直面したとき、持続可能な開発のための教育 (ESD) がいかに適応能力を伸ばし、政策策定を可能にするかということに焦点を当てます。同時に、新しい環境技術や環境関連の仕事を通じて、アフリカが現在発展しつつある世界のグリーンエコノミーの主役の一人になれるようにすることについても重点的に議論します。講演者たちの発表に対し、出席している世界のリーダー達や専門家からコメントを受けた後、質疑応答を行います。

議長：武内 和彦 国連大学副学長、国連大学サステイナビリティと平和研究所 (UNU-ISP) 所長

講演者：

- リディア・R・アーサー・ブリト エドアルド・モンドラーネ大学農林学部准教授
- 原 丈人 デフタ・パートナーズ／アライアンス・フォーラム財団会長、日本国政府財務省参与
「21世紀のアフリカ国富論」
- 林 達雄 アフリカ日本協議会代表、立命館大学特別招聘教授
「橋を架けよう！共生のグローバル化を！」

コメンテーター：

- オルシェグン・オバサンジョ 前ナイジェリア連邦共和国大統領
- サム・ヌヨマ ナミビア共和国初代大統領
- アミナタ・トラオレ 元マリ共和国文化・観光相
- リシャブ・アイヤー・ゴッシュ 国連大学マーストリヒト技術革新経済研究研修センター（UNU-MERIT）上級研究員

16:00-16:30 休憩

16:30-17:00 「アフリカと持続可能な開発」セッションの続き

17:00-17:30 総括セッション：アフリカのビジョン

要約と総括

- ハンス・ドービル ユネスコ戦略企画担当事務局長補
- ワリード・マハムード・アブデルナーセル 駐日エジプト大使